

米民主党、事実上の上院多数派に

ポイント① 決選投票で2議席獲得

1月5日、米国ジョージア州で昨年11月の選挙で決着がつかなかった連邦議会上院2議席の決選投票が行なわれました。民主党が2議席獲得を確実にし、上院議席数は民主・共和両党で同数となりました。賛否同数の場合、上院議長を兼ねる民主党のハリス次期副大統領が決裁票を投じるため、民主党が事実上の多数派になったと言えます。

ポイント② バイデン新政権への影響

米国では政府予算の策定など重要な政策案件で議会の議決が必要であり、上下両院で民主党が多数派になったことは、1月20日に就任するバイデン民主党新政権にとっては追い風です。

新政権が追加経済対策を打ちやすくなるとの見方から6日には米長期金利が上昇し、金利上昇に影響されやすいナスダック総合指数が下落した一方、景気敏感株が多いNYダウは上昇しました。

ただ、両院とも議席数差が小さく、議員が自党の方針に従わないことも多いため、新政権は政策運営において議会対応に苦心しそうです。

ポイント③ 両党とも一枚岩でない

民主・共和両党とも党内は一枚岩ではありません。民主党内では規制強化や富裕層への増税などを強く主張する左派と、バイデン次期大統領のような穏健派との対立があります。共和党内ではトランプ大統領支持層と、議会指導部との対立が強まりそうです。

バイデン政権としては、新型コロナ禍からの経済立て直し、社会の分断の修復、環境保護、財政再建といった様々な課題に、党内左派の批判を抑えつつ、共和党議会指導部との妥協を図りながら取り組むことが求められます。

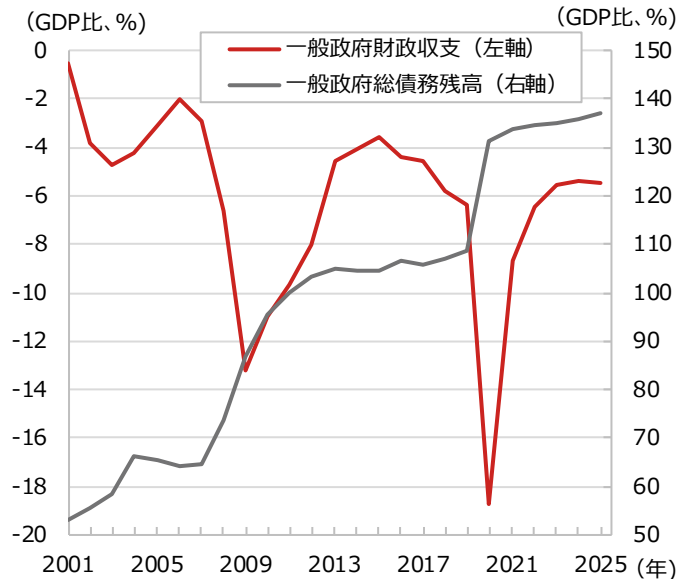
図1：米国連邦議会議席数

		民主党	共和党	その他	欠員、未決定
上院	新議席数	50	50		
	(改選前)	(47)	(53)		
下院	新議席数	222	211		2
	(改選前)	(232)	(197)	(1)	(5)

(出所) NHK報道等より野村アセットマネジメント作成

図2：米国政府の財政収支と債務残高

期間：2001年～2025年、年次



(注) 一般政府：中央政府、地方政府、社会保障基金の合計。2020年以降はIMF（国際通貨基金）による予想値。

(出所) IMF「World Economic Outlook Database, October 2020」より野村アセットマネジメント作成

重要
イベント

1月8日 米雇用統計 (12月)
1月13日 米消費者物価指数 (12月)
1月15日 米小売売上高、米鉱工業生産指数 (12月)

当資料は、投資環境に関する参考情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したご参考資料です。投資勧誘を目的とした資料ではありません。当資料は市場全般の推奨や証券市場等の動向の上昇または下落を示唆するものではありません。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料に示された意見等は、当資料作成日現在の当社の見解であり、事前の連絡なしに変更される事があります。なお、当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆ないし保証するものではありません。投資に関する決定は、お客様ご自身でご判断なさるようお願いいたします。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡します投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。